

3のワツワツパル日刊

汚された解放区

ハンパク会場ついに官憲の侵入!

8日午後6時45分、7名の制服警官がハンパク会場に立ち入った。理由は会場内のホットドック屋を排除するためだという。ハンパクに参加するものにとって、この空間はいつさいの権利の介入を拒否しているものだ。しかも許されないことには、その官憲を導入したのは西川と名乗るハンパク関係者であったらしい。それに激怒した人々は、事務局の責任を追求する大衆討論が開かれた。

「事務局としては、西川という人物は全く知らないが、そういう事実を充分に把握できなかった点は、真剣に自己批判しなければならぬと思う。ホットドック屋の件に関しては、これまでに再三再四撤去を申し入れている。しかしハンパク協会の自主警備体制の不備からその申し入れに実効性をもたせることができなかった。」

「事務局自体を批判しているわけではない。だいたいハンパクの事務局は、固定的に事務局員が決まっているわけではないし、個人が自主的に行動してこそハンパクなのだ。むしろ官憲を導入してもという考えを持つ人間が、われわれの仲間はいたらしいという事実が問題だ。」

「この官憲導入の基本的な原因は事務局体制の不備とともに警備員の不足がある。ここに結集された人々が自発的に警備に参加することを確認してほしい。ヘイゲナーシの大合唱。具体的にはいまここにいるホットドック屋をどうするかということだ。圧倒的にホットドック屋を追い出せということが確認され、ホットドック屋のオツチヤマンを固んで交渉した結果、若干の例外を除いて、ホットドック屋の1団は去っていった。」

連日のハプニング!!

警官導入問題を契機に急遽討論集会に切

りかえられた。フォーク・イン・ナイトは、主として「歌う」とは何かということについて、五百人あまりが熱のこもった討論を展開しました。

新宿西口で開いている東京フォークケ

リラの諸君は、一体反戦歌というものの、「反戦」と「歌」とはどのような関係があるのか、またわれわれの解放区警察が入

3

つたことの意味を問うことな

朝刊

か、そんな歌があるのか、と

9

激しく問題提起を行なった。

8

それに応じて討論に参加して

8

いた高石友也さんは、自分に

8

とって「歌う」ということが

8

すべた。しかし現実には、

8

西口広場のように歌う場所す

8

らない。だから「歌う」とい

8

うことは、広場を創るということ、人間

トピックス

★ハンパクもヤブ日目の午

午四時すぎに15分位の大衆討論でマ

ツという内に、毛布をテント内を

ピシヨぬれ、その夜のやどりはい

やはヤサンタンたるもの。一夜あ

けてみると、男は男同士、女は女

で、せまいところに顔や手足をく

つつけて、人目はツからぬ寝姿を

現出していた。カミはハンパク

事務局から、シモは日刊ハンパク

社員まで、ついに、全員、ホモに

レス!であることがどうとらバ

レてしまったヨ。

★ハンパク新聞社にも、つい

に遠反波及か!!

連日の悪条件下に酷使されてい

る社員は、日刊ハンパクが今日よ

リ夕刊を発行! (今朝、ヒル刊は

けつった)の決定にたまりかね

もう、22時向もネチヘンのヤゾ、

イツタイ、ドナイシテケルネン

と一せいに烽起のカマエをみせて

いる。がそれには社長も同調した

いとかデケンかにならぬらしい。

